

須賀川区報

来春より診療所が再開!

待望の診療所が再開される見通しとなりました。過日、竹節町長より「来春から旧診療所医師住宅を改修し診療所として再開したい」との連絡を頂きました。

当面、週二〜三日程度、半日のみの診療となりご不便をお掛けするとのお話ですが、地域住民にとっては朗報ではないかと思えます。場所は、おはん女森の旧医師住宅を診療所として改修し再開する見通しとなりました。

今後、地域とすれば医師が常駐して毎日診療が行われ、安心して住み続けられることが望みで、引き続き努力していただくように町側へ要請していきたいと思えます。



平成二十五年十二月二十五日
発行責任者 須賀川区 外山俊



そば焼酎を手に山崎隊員

地域おこし協力隊員が着任

今年度、須賀川区として町に要請しておりました地域おこし協力隊員が、十二月二日付けで着任致しました。

この制度は総務省の事業で「隊員」は首都圏から募集し、三年間に渡って須賀川地区、地域活性化のためにさまざまな事業に援助、協力して頂く方です。

この度、着任して頂いた方は山崎崇（やまざきたかし）さん三十八歳で独身、千葉県出身です。大学卒業後、秋田、沖縄で環境アセスメント調査に携わり、茨城県の谷津田では荒廃農地の再生と地域活性化に取り組み、その後、沖縄県宮古島で「島らつきよう」を使った地域おこし活動に協力されたとのこと。今後、須賀川そぼのさらなるブランド化や地域活性化に向けてご尽力いただくというところで、地域としても非常に期待するところ。これから中須賀川に住み、さまざまな場所から区民の皆さんとお会いすると思えますが、宜しくお願い致します。

区有林の見廻り実施

例年、行われている区会役員の間有林見廻りが過日、十月十三日に行われました。当日は山林委員の皆さんの案内のもと、竜王スキー場、第五リフトの上から小丸山方向に向けての境界を確認しました。事前に境界線に沿って竹やぶなどを刈りはらったとは言え、急峻な崖を這い登ったり滑り落ちたりと、区会役員は悪戦苦闘しながら境界確認。一時間半ほどで無事にグレンデまでたどり着きました。最高齢役員の裏落合惣代、丸山忠志さんは日頃の鍛錬のせいか健脚ぶりを発揮、それに比べて若い五十代役員の弱体が気になりました。

山林委員会は春と秋に全区有林の見廻りや境界杭の確認を実施していただいております。今後とも財産保全の為に活躍されることを望みます。



悪戦苦闘する役員

行政懇談会開催される

過日、十月二十九日午後七時から町長はじめ担当課長等と区民による行政懇談会が行われ活発な論議がなされました。

冒頭、区長より事前に町側へ提出された要望事項に対し、町担当者から説明がありました。引き続き区民の皆さまからも率直な要望が出されました。以下、事前に出された要望事項と会場からの意見、それへの回答の概要です。

- ① 診療所を早急に再開してほしい
- ② 北小スキークラブに関するところで志賀高原のリフト乗車は全小生徒無料にしてほしい
- ③ 索道会社の問題でもあり難しいこともある
- ④ スキークラブが所有する圧雪車の修理費へ町の支援をしてほしい
- ⑤ 町としてジュニア育成協議会への助成をしているので内部で協議してほしい
- ⑥ 北部公民館の耐震改修を早急にすすめてほしい
- ⑦ 平成二十七年度に実施したい
- ⑧ 公民館二階大広間への段差をなくしてほしい
- ⑨ 予算措置もあるので検討したい
- ⑩ 公民館駐車場を拡幅してほしい
- ⑪ 予算措置もあり検討させてほしい
- ⑫ すがかわ保育園に駐車場を設置してほしい
- ⑬ 予算措置もあり検討させてほしい
- ⑭ 若者定住促進に向けて町民住宅の新設を検討して欲しい
- ⑮ 景気が低迷する中、なかなか難しい
- ⑯ 既設町民住宅居住者への入居規定順守（隣組への協力義務）の指導を強めてほしい
- ⑰ 強制できない面もあるが指導したい
- ⑱ 交通不便地域への対応助成地区に八丁原地区、丸山地区も加えてほしい
- ⑲ 対応したい、赤字路線でもあり区民の皆さんにもっと定期バスを利用してほしい
- ⑳ 須賀川そぼブランド化に向けて「識選機」導入への支援をしてほしい
- ㉑ 県の補助金（元気づくり支援金）を活用してほしい
- ㉒ 区内廃屋を撤去できる方法を検討してほしい
- ㉓ 権利等もあり難しいが観光地として景観上もよくないので検討させてほしい
- ㉔ 空き家活用で改修助成金もあるので利用してほしい
- ㉕ 消火栓の位置を再検討してほしい

◎ 検討させてほしい
⑭ 町からの配布文書が多すぎる、簡素化に努力してほしい
◎ 努力します

◎ 町主催会議の日程及び時間を勤め人に配慮してほしい
◎ それぞれの都合が違っていて難しい

◎ 町道松木平線(表落合白沢川南側)は要請しなくとも除雪してほしい

◎ 町の規定では人家の無い所は除雪対象外だが状況を考慮して除雪したい
《会場から》

① 固定資産税の減免はできないか
◎ 税は法律でもあり難しい

今回、行政懇談会は区としては初めての試みでもあり今後、区民への周知も含め恒例となるようにして頂きたいところです。



阿部知事のあいさつ



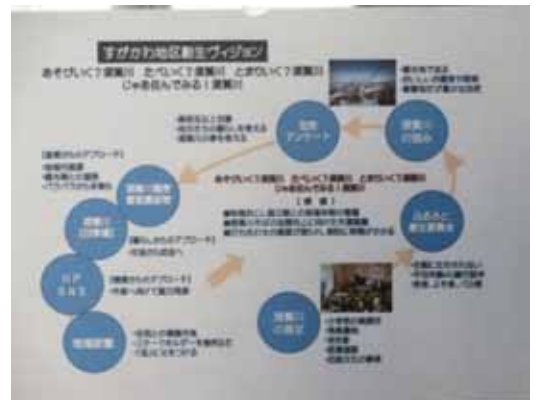
手前から渡辺委員長、外山区長



県庁で集落「再熟」モデル地区の中間発表

去る十一月二十日、県庁で集落「再熟」モデル地区に指定された県内四地区の中間発表が行われました。

当日は区長をはじめ、ふるさと創生委員長らが出席、県側も阿部知事以下各部署の部課長が居並ぶ中、各地区の発表が行われました。我が須賀川区は最終番でしたが、まず区長から地区の現状と人を増やしたいという熱い思いが語られました。続いて委員長から現在の委員会状況やビジョン策定までの計画が発表されました。他の三地区は行政主導で計画が進められていることに知事は懸念を言う中、当地区の発表には知事は頷きながら聞き入り、最後の発言では「ここは大丈夫ですね」との嬉しいコメントを頂きました。



発表された再生への流れ

た。帰郷後、さっそく反省会を開きビジョン作成に向けての計画や講演会の相談をしました。

今後、委員会では立教大学の庄司先生に依頼をしている区民アンケートの集計を踏まえて三月中にビジョンを作成し区民に発表する予定にしています。また、このビジョンをもとに次年度以降さまざまな事業が計画され、県からの助成を頂きながら実行される計画です。尚、委員会では広く区民から委員を募集しています。お気軽にお申し出下さい。



新設された須賀川区のH.P



第二回「四季婚」開催

十一月四日の日曜日、第二回「四季婚」が開催されました。今回は高社山への登山を企画、地区内をはじめ県内各地から男女十七名の応募がありました。当初、中野市の赤岩登山口からを予定していましたが、前日まで悪天候が続き、登山道も一部に危険な場所もあるとのことで急きよ夜間瀬スキー場から変更しました。途中、小雨が降る中みんな元気に登頂しました。下山後、よませ活性化センターで改めて、ご対面。チェンジしながら五分間のショートトーク。その後、北部公民館に戻って結果発表です。それぞれ意中の相手の名前を書いてボックスに入れて待ちます。みんなドキドキしながら結果を待ちました。今回は残念ながらカップル誕生には至りませんでした。次回は今後一月末頃に一泊で高井富士スキー場にて行われます。ご応募お待ちしております。



曇り空の中、みんな仲良く



緊張ぎみの参加者

役員報酬が答申される

報酬審議会

今年度、設置された報酬審議会(岩本大喜夫委員長)から区会役員報酬について十月二十四日付けで区長に対し答申書が提出されました。これについて十一月区会において審議され、答申案通りに採択されました。委員会には当初、区長より平均三割減額を諮問されましたが、検討の結果、以下のような答申がされました。尚、「区長は二年を用途に報酬について区議会に発議し審議された」との付記も付けられ平成二十五年から実施されることになりました。以下、現行と決定額です。

- ・区 長 七十万円⇓六十万円
- ・副区長 六十五万円⇓五十五万円
- ・議 長 七・五万円⇓十万円(新設)
- ・副議長 七・五万円⇓八万円(新設)
- ・区会議員 七・五万円⇓七万円
- ・監 事 三万円⇓二万円
- ・幹 事 十万円⇓十万

編集後記

巳年もあとわずかになりました。来年こそは良い年であってほしいと願いますが、景気の低迷が続く中、不満や不安だけが膨らんで思わぬところで爆発しがちです。せめて地域、家族は仲良くしていきたいですね。午年が明るいなになりますように。

